

フォトフェイシャル® 説明同意書

フォトフェイシャル®は、IPL（Intense Pulsed Light）という光をお顔全体に照射することで、肌に対して最小限のダメージで肌質を改善します。定期的に施術を繰り返すことで効果を実感しやすいのが特徴です。

当治療は自由診療のため、一般診療（健康保険使用）と同日実施はできません

※一般診療と同日にフォトフェイシャルを行う場合は、保険証が使用できないので診療費が全額自己負担となります

以下の禁忌事項に該当する方は治療をお受け頂けません

妊娠中及び授乳中の方

光感受性を高めるような薬剤（副作用欄に「光線過敏症」の記載あるもの）を使用または服用されている方

施術後 1 ヶ月以内に積極的な日焼けをされた方（海、山、ゴルフ、日焼けサロン等）

施術後 2 週間以内に積極的な日焼けをする予定の方

ケロイド体質の方（キズが治りにくい方）

活性ヘルペス、またはヘルペスの既往がある方

活動性の感染症のある方

過去に肝斑、もしくは肝斑の可能性があると専門家に診断された方

糖尿病、アルコール中毒、てんかん発作、うっ血性心疾患などの既往がある方

光感受性が高い方（全身性エリテマトーデスまたはポルフィリン症の病歴など）

エイズおよび HIV 感染を含む免疫抑制疾患

抗凝固療法を受けている方

重度の皮膚疾患、感染性皮膚疾患、皮膚がん、前がん病変の既往歴のある方

治療部位に以下の症状がある場合、医師にお伝え下さい

色素性母斑

刺青、アートメイクをされている方

裂傷または擦過傷

感染症や悪性病変

他院にて治療中

以下の病歴や症状がある場合、医師にお伝え下さい

肝斑の方

アトピー性皮膚炎

光線過敏症

多嚢胞性卵巣症候群などのホルモン障害

金属剤を使用した治療

放射線療法

フィラー（コラーゲンやヒアルロン酸）、脂肪注入治療歴

他院での美容治療歴や予定

施術前日に照射部位の剃毛をして下さい

剃毛してない場合、毛に反応してしまい効果がでないことがあります
こめかみ部分の剃り残しが多いのでご注意ください

照射中ゴムで弾かれたような痛みを感じます。

強い痛みがある場合はお伝えください

照射部位に残しておきたいホクロがある場合は、事前にお伝え下さい

照射するとホクロが薄くなる場合があります

化粧水（基礎化粧品含む）、乳液、日焼け止め（SPF30）をご持参ください

治療後は保湿と紫外線対策が重要です

お化粧をせずにご来院下さい

化粧品や日焼け止めが残っていると、照射むらが生じ熱傷などの副作用リスクが高くなります
特に鼻翼付近は、お化粧落としが不十分なことが多いのでご注意ください

施術後のケアについてご理解下さい

治療部位を清潔に保つ

化粧水と乳液をたっぷり使用し、十分に保湿すること

色素沈着を防ぐため、日焼け止め（SPF30、目安全顔 0.8g）を継続的に使用すること、直射日光をさけること

皮膚を強くこすったり、ひっかいたりしない

洗顔、入浴、メイクに制限はありません

治療後まれに、火傷や色素沈着などの副作用が生じる可能性があります

治療後は日焼けのようなほてり感や軽度の発赤や腫れが生じる場合があります
ほてりは冷却することで軽減します

私は、担当医師（岡野敬 / 楊浩勇）から、フォトフェイシャル®について、その方法、効果、副作用などについて詳しい説明を聞き、理解しました。また、禁忌事項に該当する項目はありません。
この施術を受けることに同意いたします。

年 月 日 氏名 _____ 印